



校歌

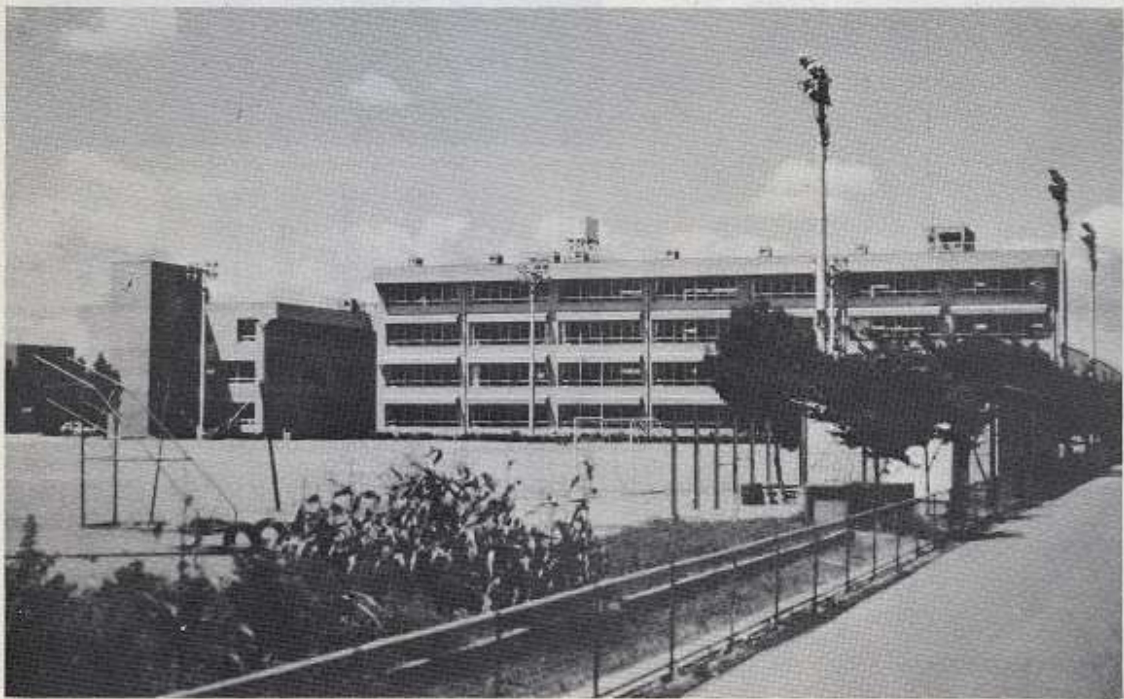
作詞 野宮高成
作曲 岩河三郎

一 旭が丘にかがやく光
歴史をきこむすま並木
そびえる校舎あおきつ
楽しい朝夕に
高萩北小 高萩北小
のびゆくみこころ

二 みどりもえだの広き野を
ひらきし土の豊さを
大ゆまぬ努力をいつつ
負けないまの日に月に
高萩北小 高萩北小
のびゆくからだ
のびゆくからだ

三 遠いかきは萩之山辺
文明の道跡倉へ
いまは世界にわたるけ
ふくらむ希望年ごとに
高萩北小 高萩北小
のびゆくわれら
のびゆくわれら

高萩市



日高町立高萩北小学校 開校十周年記念誌



修学旅行



産業祭



卒業式

思い出の記

座談会 卒業生	18
わが母校 卒業生	22
「北小」は今・在校生	24
ふれあい	
地域の方々	30
転出された先生	32
十年勤続の先生	33
教職員名簿	34
PTA本部役員一覧	36
校舎・教室配置図	37
学校規模の移り変り	37
開校十周年記念準備	38
並びに実行のあゆみ	38
十周年記念事業組織図	39
編集後記	40

北小の四季



第一回入学式



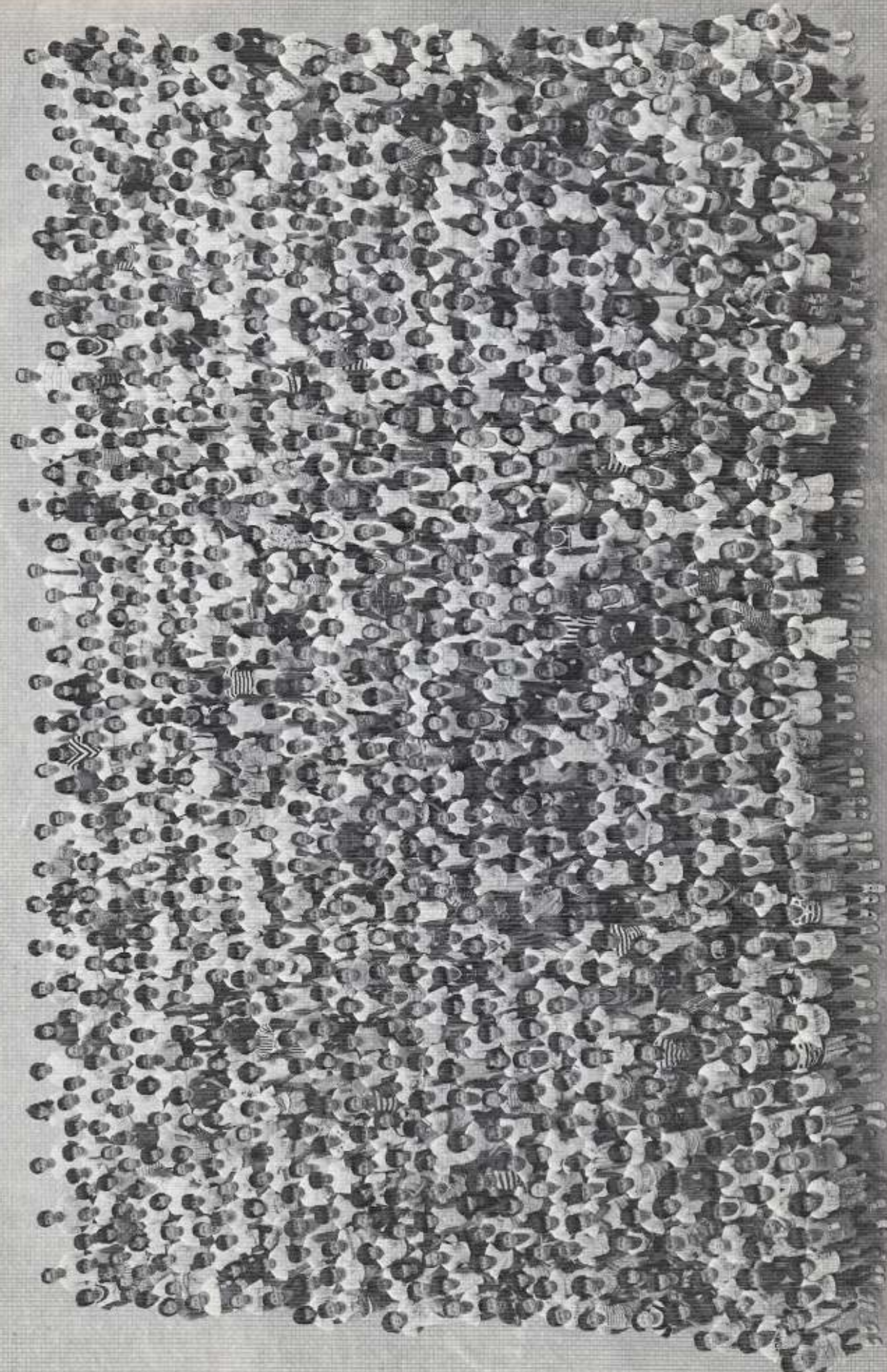
プール



運動会

もくじ

校歌・校旗・校舎全景	1 頁
写真「北小の四季」	2
全校生徒の顔	4
あいさつ	
高萩北小学校長 荒井栄一	5
日高町町長 駒野昇	6
日高町教育長 飯野五郎	7
初代校長 森田良久	8
PTA会長 及川雄功	9
記念事業推進委員会会長 平井満州男	10
実行委員長 吉本新司	11
沿革	12
お祝の言葉(パートI)	12
お祝の言葉(パートII)	16



開校十周年を迎えて

高萩北小学校長

荒井 栄 一

武蔵野の面影を残す緑豊かな旭ヶ丘の大地に、昭和五十三年四月一日高萩北小学校が開校し、めでたく十周年を迎えお祝いが行われますこと、心からご同慶に存じます。開校当時の町当局、教育委員会、教育関係者、地域の方々などの絶大なご理解ご尽力、並びに今日まで築いてこられた歴代関係の皆様には、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

この度の十周年記念事業を行うに当りましては、記念事業推進委員長さん、同実行委員長さん、PTA会長さんをはじめ各役員会員の皆様方、地域の方々には多大なご支援ご協力をいただきました。事業等による収益金を学校環境美化に、子どもたちに夢と希望を与える記念品代に、そして記念誌発行等にと充ててくださいまことに有難うございました。厚くお礼申し上げます。

本校十年の歩みは各方面からさまざまな論義を呼び教育の本質が問われ、教育界においても新しい教育のあり方を模索した時でもありました。教育に大きな期待が寄せられている今日、二十一世紀を展望し、社会情勢の多様化にも適応できるような、豊かな心を持ちたくましく生きる児童の育成を目標に、全職員精進しているところでございます。これを機に先輩の残された過去十年を振り返りよい伝統を受け継ぎ、姿勢を正して将来への発展を目指して第一歩を踏み出す所存でございます。今後とも皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



十周年を第一のステップとして

日高町町長

駒野 昇

北小開校十周年おめでとうございます。

昭和五十三年四月、開校初の入学式に私も町議会を代表して臨席したのを思い出します。北小は私の居住区の小学校でもあり、公私共に後援させていたと思いますが、この十年の間に体育館・プールをはじめさまざまな設備も整い、初等教育の場として充実しつつあります。このことは先生方の教育に対する期待と情熱、P T A等関係各位の御尽力による成果であり、心より感謝申し上げます。このことは先生方の教育に対する期待と情熱、P T A等関係各位の御尽力による成果であり、心より感謝申し上げます。

小学校・中学校・高校等、学校というものは地域から支持される学校でなければ、そこに学び育つ児童・生徒は各々教育の目的を果たすことはできません。そういう面からみましてもつくづく幸せな学校だと思います。

北小は周囲を広大な平坦地に囲まれ、二階三階からは、西は秩父連山、南西に富士山、北は上毛三山と、誠に眺めの雄大な地に位置しております。十年を第一のステップとして、心新たにこの自然に恵まれた旭ヶ丘の地に輝やいている子どもたちをのびのびと育て、二十一世紀の舞台で人々と互いに助け合い、ともに考え、平和を創造するしっかりした人間づくりの場として北小が益々発展しますことを、又、先生方、P T A各位のこれからの御活躍を共に祈りいたします。



“メタセコイア”も緑ゆたかに

日高町教育長

飯野 五郎

鎌倉、日光杉並木両街道の歴史ゆかりの地に創立、以来十年、学校の伝統づくりにご尽力の歩みが、記念誌として発刊されました。地域、学校一体のとりくみの姿に深く感謝いたします。

開校早々P T Aが発足し、初代森田校長さん、松本、尾崎、荒井の各校長さんを中心とされ職員、児童、P T A地域の皆様が協力し合って、よい校風づくりに活躍されました。思い出が多いことでしょう。

メタセコイアも緑豊かに育ちました。校庭の桜も年々春を告げ、学校をあかるくしております。開校年の子どもさんも立派に育っております。十年という時の重みを感じます。

環境づくり伝統づくりが人の育ちに深く関係します。ここで育った若人が又新しい伝統を創っていきます。

いま学校教育では、「創造性と豊かな心をはぐくむ」ことを目指し特に、魅力ある学校づくりに努めています。魅力ある学校とは「子どもさんが、友達と生きていて、授業中、子どもが主役になって活動し、子どもたちを引きつける環境があつて、先生方も生きがいをもって活動し、地域の人に頼られていること」です。このようなことを考えますとき、北小の研究発表には、たくさん学校の先生が授業参観され、個性豊かな子どもづくりの指導を見て、あのような学校にしたいと感心して帰られました。先生、子どもさんが生き生きと活動されたからです。誇るものができました。さあ、胸を張って、又しっかり勉強しましょう。

十周年の歩みを節とされ、皆様のかわらないご協力で、北小のいよいよのご発展を祈ります。



十周年を祝う

初代校長 森田良久

高萩北小学校開校十周年おめでとございます。

開校したのは、まだついこの間のような気がしますが、もう十年たったのかと、感慨無量です。開校当時の様子について、思い出すままに、いくつか記してみます。

開校直前の高萩小からの移転の日には、悪天候にもかかわらず、保護者の方々が総出でお手伝いいただきました。田の中を歩くように地面がぬかり、すべて大変だったと思います。

このぬかるみは、開校してからも続き、工用の板を渡って登校しました。開校式、始業式はやむを得ず屋上で行いました。当日は快晴で、空の青さと新校舎の美しさが印象に残っております。

学校のシンボルである校歌・校旗・校章については開校の頃から準備を始め、十一月二日に制定することが出来、この日を開校記念日といたしました。校舎に続いて体育館、プールが完成し、十一月三十日に完成祝賀式が、盛大に挙行されました。この日、校歌の碑の除幕式もPTAの方々の御尽力で行われました。

開校当初の二年と言う短い月日でありましたが、環境の整備に、協力態勢の確立にと、大勢の方々に、大変お世話になりました。新しい学校を立派な学校に育てようと言う先生方、児童の皆さん、そしてそれを後から支えていただいた保護者、地域の方々、そして、町当局のご配慮等々、たくさんの方々のお陰で、微力ではありましたが、学校の基礎固めを進めることができました。厚く御礼申し上げ、併せて高萩北小学校のご発展を祈念いたしました。お祝いのことばといたします。



開校十周年を祝して

PTA会長 及川雄功

本校開校十周年記念にあたり、PTA会長として御挨拶申し上げます。

高萩北小学校が、十年の月日を刻みこんで来られましたのは、ひとえに校長先生、諸先生をはじめ、PTA諸先輩、地域の方々の愛情とご努力の賜とあります。

校門を入って右側に、「考える子」「思いやりのある子」「がんばり通す子」「はたらく子」と、学校目標を掲げたトータルポールがありますが、そのもとでのびのび、すくすく子供達は育ち、巣立っていきました。

当初PTAにおいても、初代平井満州男会長をはじめ役員、御父兄の方々の苦勞話をいろいろ聞くにつけ、ただただ、頭の下がる事ばかりです。時代と共に「当り前」の言葉の意味が変わってきている昨今、この十年を迎えて、「現代を考える親の会」になっていただきたいと思えます。小学校の時は良い子だったのに、卒業してから変わったと言われる子供達が多くなった事も事実です。「子供達の為に！」ご両親の願いは皆同じですが……。まさかノの事が起こらないように、母親だけのPTAではなく、父親の皆さんもできるだけ出席していただけたらと思います。そして話し合い、ぶつかり合いながら、これからの子供達の為に、共に考えていきたいと思えます。

この記念事業を推進するにあたり、前々年度より立案、バザーなどを計画、資金調達等、委員の皆様におかれましては多大な日数を費やして、御協力をいただきました。また、地域の方々の積極的な御支援をいただき、ここに記念事業ができましたことを深く感謝し、御礼申し上げます。



開校のころあれこれ

記念事業推進委員会会長 平井満州男

ここ旭ヶ丘に建設工事がはじまり杭打つ音が響きわたる。いよいよ我が地域にも小学校が出来るのだと期待し、待ち望んでいたことが昨今のよう思い出されます。あれから十年早いものです。高萩小学校から分離独立し、その名も、「高萩北小学校」と決まり、桜咲く四月に第一回の入学式が屋上においておこなわれました。希望にみちた新入生の姿が今も懐かしく、さわやかな風が祝福しているようでした。

P T Aの結成については、準備委員会を設け、父母の御理解のもと設立総会を開催することが出来ました。当日は会場あふれるばかりの出席をいただき、高萩北小学校P T Aの発足のはこびとなりました。出来れば新年度に校歌校章記念碑を作りあげ、六年生に校歌をうたって卒業してもらいたいという気持が、自然とP T Aの中より声があがり制定の運びとなったわけです。卒業式には生徒父母と一緒に校歌を合唱し、送り出したことは思い出深いものです。良い先生方に恵まれ、学びやすい環境のもとで、多くの生徒を送り出していただき感謝しております。第一回卒業生は本年成人式を迎え社会人として多くの人が活躍しております。

校内に植樹した桜も育ち春には美しい花を咲かせていております。卒業生達もいずれは桜の如く育ち、地域社会の一員として活躍してくれることでしょう。今後は地域住民の一員として皆様共々見守って行きたいと思っております。



十周年を祝って

実行委員長 吉本新司

昭和五十三年四月一日、日高町高萩北小学校開校以来、はや十年の歳月が過ぎ、この度、創立十周年を迎えられますこと、心からお慶び申し上げます。

校舎、プールの建設、体育館の落成、また校章、校旗、校歌も初年度に制定され、今ここに創立十周年記念誌の発行をみるに至りました。皆々様におかれましても、開校当初を思い出されるにつけ、感慨無量のこと、思われます。この間、歴代の校長先生、諸先生の献身的なご指導とご努力に対し深く感謝申し上げます。共に心からの敬意を表するものでございます。

ここに十周年を迎え改めて考えますことは、今の子ども達にとって一番大切なことは、知・情・意の三つのバランスのとれた教育が理想であるということです。

昨今、ともすれば、「知」の方に比重が傾き、無理に知識をつめ込み、少しでも良い学校に進学させることを、目標にしている家庭も多いのではないのでしょうか。塾だ、けいこ事だと「知」の方にばかり関心がいき、やさしさや、責任感といった心をつちかうことや、努力、忍耐を養うことには、以外に関心が向けられていないように思われます。「親になることはやさしいが、親であることはむずかしい」と言われますけれど、子どもの豊かな感情や、喜怒哀楽の情緒は、家庭の中で母親からの影響が特に大きいとされております。ぜひ、豊かな愛情を注がれまして、心の安定と、所作、動作の落ちついた情操豊かな人間へと成長させていきたいと思います。我が身をふり返りながら、思いを新たにす次第でございます。

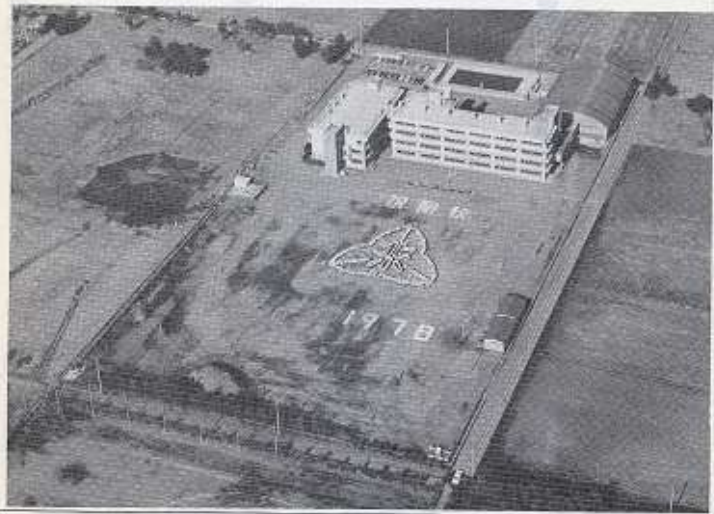
以上、私の率直な気持を述べさせていただきますが、皆々様におかれましては、これらの事柄を今後の生活の一助にいただければ幸いです。実行委員長として、望外の喜びでございます。

更に、高萩北小が、地元有志の方々、諸先生、ご父兄の方々のご尽力を賜りまして、今後更にたくましい歩みをつけ、限りなき発展を遂げられますよう、心から祈念申し上げます。祝辞とさせていただきます。

沿革の概要

校史

- 昭和五十三年度
- 53・4・1 開校
 - 4・1 第一代森田校長着任
 - 4・8 第一回入学式・始業式（二・三学級・八八七名）
 - 5・13 PTA設立総会
 - 5・20 プール完成
 - (総工費二四〇〇万円)
 - 11・2 校章・校旗・校歌を制定（開校記念日とする）
 - 11・25 体育館完成
 - (総工費八、六八二万八千円)
 - 11・28 校内通路の舗装完成
 - 11・30 校舎・プール・体育館落成記念式典挙行
 - 校歌碑除幕式挙行
 - 校章・校旗・校歌発表披露会挙行
 - 54・2・10 入間地区テレビ放送利用授業研究会
 - 3・24 第一回卒業式（卒業生二二二名）
 - 3・30 プレハブ二教室完成
- 昭和五十四年度
- 55・3・21 校舎増築工事完成（四教室）
 - 3・25 第二回卒業式（卒業生二五六名）



- 昭和五十五年度
- 55・4・1 第二代松本校長着任
 - 6・12 テレビ埼玉放映「新教育課程の実践」校舎西側フェンス完成
 - 9・12 第三回卒業式（卒業生二二九名）

観察池・水生植物園・観察種完成
夜間照明施設および外便所完成
飼育小屋PTAより寄贈

お祝の言葉（パートI）

教育は人にある

発知敏郎

私の四〇年の教員生活の中で最も印象に残っているのが、新任で四年半お世話になった高萩です。その後、半世紀過ぎて思いもかけず、まだその当時の校舎が残っている高萩小学校にご厄介になりました。分離は大規模校を解消し教育効果をあげるためですから教委には特に力を入れていただきました。雨の中の机、腰掛の移動は話によく出ると思っています。しかし、教育は人にある。で、非難もされましたが、私が高萩北小に役立ったことがあるとすれば、この点ではないかと思っています。

（元高萩小学校長）

旭ヶ丘のむかし

松本佐夫

北小開校十周年記念誌の発行おめでとうございます。関係各位の努力に対し、感謝と御礼を申し上げます。記念誌の原稿のテーマが「特に印象に残っていること」ですが北小の日々の出来ことはすべて印象に残っております。特に申せば旭ヶ丘の地は昔は山林で昼でも暗い場所でしたが、それが航空士官学校の飛行場となり、光がさしこんで参りました。戦後は開拓地となり現在北地区の文教地区としてめざましい発展を遂げていることは同慶に堪えません。北地区の皆様方はすべてに協力的で義理人情に厚いことは有名です。今後の発展と皆様方のご多幸を祈ってやみません。

（第二代 学校長）

校庭の木々も見事に育って

高沢武男

開校十周年御目出度う御座居ます。私が会長をお引き受け致しましたのは、昭和五十四年、末の息子が一年生の時でした。当時は校庭もまだ充分整備されていず、植樹も不充分でしたので、紫陽花やバラの苗等を植えたり、用務員室の目かくしにと生け垣を作ったりも致しました。団地の北側を通学路として認めてもらうように計画、町役場に足を運びました。申請後一年で工事着工完成を見ました。街路燈も五百ワット二基が出来ました。私達が植えました樹々と共に、北小が大きく育って行くのを、これからも楽しみに見守っていききたいと思います。

（第二代 PTA会長）

地域が育てた北小学校

尾崎昌治

四年間本当に楽しくお世話になった。種々の思い出の中でも運動場の遊具と共に、北小地域の教育力の偉大さが忘れられない。健康が第一、体力向上に遊具ということでバザーが開かれたが、このバザーの協力体制が素晴しかった。現PTAの役員は勿論、PTA役員のOBが汗を流して協力してくれたのである。北中会の応援も心強かった。また遊具製作に初代会長の協力も有難かった。子どもたちの運動能力も徐々に向上、毎年行なわれて来た仲よし球技大会・仲よし運動会の成績も、北小こ、にあり、と誇示できるようになったのは、職員の指導もさることながら、地域の教育力の賜物と感謝に堪えない。北小の益々の発展を心からお祈りいたします。

（第三代 学校長）



昭和五十六年度

56・12・4 国語教育研究発表会(町教委・飯能
教研委嘱)

57・3・25 第四回卒業式(卒業生一九五名)

3・30 若石園・流水実験施設・東通用門完成

昭和五十七年度

57・4・1 第三代尾崎校長着任

58・1・25 校内緑化計画第二期完成

小島小屋完成

3・11 校内放送コンテスト音声部門努力賞
入賞

58・3・25 第五回卒業式(卒業生一五七名)

昭和五十八年度

58・12・10 体育館用映写スクリーン取り付け

59・3・12 体育館屋根修理

3・24 第六回卒業式(卒業生一六八名)

3・31 PTAよりグロブジャングル他七
施設寄贈

昭和五十九年度

59・8・31 体育館周囲U字溝蓋架
校舎窓下コンクリート防水

校地外フェンス補強等工事
花壇設置

60・3・25 第七回卒業式(卒業生一八四名)

昭和六十年

60・11・15 体育館一階通路塗装工事

昭和六十一年度

61・4・1 第四代荒井校長着任

6・21 プール塗装工事

9・30 小島小屋屋根PTAにより改修

10・30 観察池にPTAにより水の浄化装置
二基設置、集合板設置

11・18 図画工作研究発表会(町教委・町教
研・入間美研委嘱) テーマ「豊か
な想像と表現を育てる図工指導」

62・3・10 体育館屋根塗装塗り替え等工事

62・3・16 消火管漏水修理工事

3・25 第九回卒業式(一八五名)

昭和六十二年

62・4・15 石灰庫設置

6・1 東側フェンス修理

10・17 ロープジャングル等PTAにより塗
装

建築中の体育館



記念式典

十年の一昔

犬竹郷美

開校十周年おめでとうございます。

十年一昔といわれたことも、いまではなんと一昔の短かいことか
と驚いている。開校当時のことがまるで昨日のように思いつす。

泥んこの校庭に、校舎だけが立ちあはだかっている学校、入学式は
屋上の広場で挙行した。雲雀の音が美しかった。プールも体育館も
開校年度に完成、町当局の努力に感謝した。「校旗は学校の顔、校
歌は学校の心」を合言葉に、第一回卒業生のためにと実現に努力。
学校もPTAも力を合せた学校づくりだった。あれから十年。

北小は立派に成長した。創造と努力によって、二十周年を迎え、
そして二十一世紀に飛翔する、限りない前進を祈念している。

(初代 教頭)

成功した国語の研究発表会

大野静夫

私が高萩北小へ転任したのは、昭和五十六年四月。開校四年目の
春を迎えて校庭の桜もわずかな蕾をつけるまでに成長していた。

この年北小では、全職員が丸となって国語の指導法の研究に取
り組んでいた。この研究は数年前から進められていたもので、その
成果を発表する年になっていた。若任早々私の仕事は、この国語研
究を充実したものにまとめあげるための諸計画の立案と研究の推進
であった。

真剣に学ぶ子ども達と、研究心旺盛な職員とによって生み出され
た研究のまとめは、十一月四日の発表会に大好評を博した。私の北
小勤務三年間の中で最も楽しく心に残る仕事であった。

(第二代 教頭)

善悪のけじめを

橋本昌治

開校三年目、PTA活動も軌道にのり町P連の幹事校もつとめ、
本場の仲間入りが出来たようでした。最初はどのような活動をした
らよいか見当もつきませんでした。が、会員の皆様方の協力があった
からこそ出来ました。これから二十〜三十年と過ぎて初めて現在の
教育の結果が現われるのです。権利と義務を負った世界を持つこと、
権利だけ主張しても義務が伴わなければ進歩ありません。私達は
次の世代のことを考えながら良いものは良い、悪いものは悪いとし
て行かなければなりません。PTA活動にも取り入れられそうですす
ね。積み重ねが大切だと思います。

(第三代 PTA会長)

すばらしい人々に出会えた喜び

加藤忠司

五年目は尾崎校長先生が、所沢の小学校から転任してきた。少年
のように潑刺とした情熱をもった教育者で、PTAにも深い理解と
豊富な経験を持ち、新米会長の私は、いつも指導を仰いだものでは
ある。二年間の任期中、ほとんどの点で校長とは分りあえた。子供第
一の考えで、電柱による遊具を、と言いつ出したのも校長であった。
設計は大野教頭(現毛呂山の小学校長)である。博学で飲む席では
隣に座ると話が面白い、顔も楽しい。副会長、書記、会計も、それ
ぞれすぐれた人材に恵まれ、もりたててもらった。就任当時、到底
できないと思っていたことも、皆、まわりでやってくれた。
PTAで、これらすばらしい人々に出会えたことに感謝している。

(第四代 PTA会長)



お祝の言葉(パートII)

歴史ある道

野々宮高成

学校の西側に鎌倉街道上道が北関東から鎌倉に通じていました。今でこそ名もない道ですが、当時は、歴とした主要道路。高山重忠の軍勢もここを通りました。元弘三年五月新田義貞の鎌倉攻の軍勢、二年後の建武二年には北条時行の軍勢が、正平七年には新田義興等の軍勢がこの道を通りました。日光街道は東照宮火消番役の八王子千人同心が通った道です。こうした道はいまでもなく当時の文化の道でした。誇りある高萩北小に学ばれる皆様、現代の道は進しなく世界へ宇宙へと伸びるのです。

(校歌の作詞)

校歌が愛唱歌となる時

岩河三郎

校歌を作曲させて頂いてから、もう十年もたったということ、月日の流れの早いのに驚いております。校歌も十年たつと、漸く子どもたちにもなじんで来て、いわゆる愛唱歌の一つになるのだと思います。いわゆる若木が根付くように、これからは学校生活にとりと、とけこんでいってくださると思います。

生命の大変短かい流行歌と違って、末長く歌いつがれることは、作曲者の心からの願いであり、かけがえない喜びなのです。

(校歌の作曲)

まるは萩の校章

師岡恒雄

高萩北小学校十周年おめでとうございます。当時の一年生も今は高校生ですね。高麗中、高根小に続いて三校目の校章を採用して戴いたのが高萩北小でした。地名にちなんで、PTAの三枚からなる丸葉萩の葉を圖案しました。秋に咲く可憐な白いたくさんのは、皆さんが楽しく遊戯しているようです。益々の躍進をお祈り致します。

(校章のデザイン)

心に残る北小の校歌

金橋富士男

「旭が丘にかがやく光、歴史をききむすぎ並木……」関係の方々のご努力により開校数か月で校章と共に制定された校歌。そして第一回の卒業式から器楽伴奏で歌うことができたよろこび。開校一年で一通りの施設・設備も整い、環境整備も進められ、それに校歌・校旗・校章まで制定されたこと……。当時としては他に例をみない快挙でした。校歌は歌詞も曲も北小の子どもたちにふさわしく親しみ易い曲です。あれから十年、子どもたちはこの校歌を心の支えとし愛校心を燃やしてすでに千数百名が北小を巣立っています。「いまは世界に輪をひろげ、ふくらむ希望年ごとに……」子どもたちの限らない成長を祈ってやみません。

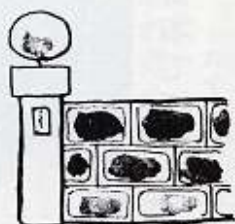
(初代 教務主任)

思い出の記

座談会……………卒業生

我が母校……………卒業生

「北小」は今……………在校生



昭和五十二年四月一日、高萩小から分離移転、「高萩北小学校」として開校、以来十年の歳月を重ねました。この十周年記念にあたり、一期生、二期生（当時五年生、六年生）の方々にお集りをいただき、お話を伺いました。



出席者
 一期生 庄野正人・森下和美……………*
 二期生 岡本 茂・小岩善明・鈴木啓之
 吉野 哲・渡辺 進……………*
 学校から 岩沢徹夫先生……………*
 (司会 渡辺二夢子)

座談会

開校当時の思い出



司会 高萩北小が新設されるということは、長年の計画があつたことだったのでしょうね。
岩沢 そうですね。何年か前から萩小がバンク状態になりましてそれからですね。

びは屋上を使っていました。ボールが落ちると、「誰が取りに行くんだあ」なんて……。そんなことも懐かしいですね。
司会 今も屋上は使っているのですか。
岩沢 体育館ができた頃から、ほとんど使っていません。太陽の観察や演劇部、バトン部の練習には時々使いますがね。
吉野 そういえば、風もすごかったですね。

開校のころ
 新しい匂い、そして土ぼこり……
司会 新しい学校に移って、どんなことが印象に残っていますか。
庄野 校庭に何もなかったですね。整地もされていなかったし。みんなに「新しいと何もないよ」とおどかさされていて、それが本当なら面白くないんじゃないかなあ(笑)と、子どもなりに心配でした。

岩沢 ポートボールの練習は、土埃がするので有名だったね。普通は、砂を入れたり、塩を入れたりして良いグラウンドにするんだが、その頃は畑のままだったから、とにかく良くとんだね。
司会 実際グラウンドを使ってみてどうだったですか。
森下 仲良し運動会の練習をしていたんですが、すごい風が吹いて……ハンカチ持って、目をこすりながら、涙出しながらやったことがありましたね。

森下 準備の為、春休みにも何か学校に行きました。わあ新しい匂いがあるね。「木でいいね」などと話しながら、机を並べたりしました。
司会 楽しみだったんですね。
森下 ええ。でも友達と別れるのが寂しかったです。
鈴木 机が新しかったんで嬉しかった。萩小のは、ずい分ひどかったから……。
岡本 雨の日はグラウンドがね、泥沼になった。
小岩 雨上がりの時の体育や遊

側の人が見えないくらいでした。シュートするのに風向きを考えて別の方へ投げろなんて言ったのを覚えていますよ(笑)
 十年間居ますが、あの時が一番風が強かったみたいです。
岩沢 極端に言えばね、向こう



日本で初めて?
 ステンレス(底)のプール……
司会 飲み水でも苦勞したと聞いておりますが。
岡本 俺はよく覚えていないな。
渡辺 水筒は持って来ていたよ。水道管がまだ水を通したばかりで白い水がでるとかで……。

校歌、校章、その年に
 環境をうつす歌詞に感動……
司会 校歌、校章が続いて出ていますね。
岩沢 そうですね。早く校歌を歌わしてやりたいという気持が職員やPTAの人達の中にありましてね。新設校だともっとずっと後でできるのが多いんですけど、色んなことをよりはやくと頑張りましたね。
司会 校歌を初めて歌った時の感想をきかせて下さい。
森下 歌詞がこの環境にぴったりで、とても親しみがわきました。

先生のこと
 深くもぬくもり……
司会 先生のことと特に記憶に残っていることはありますか。
一同 あるある。
鈴木 牧本先生にはよく怒られた。今度も先生から電話が来た時何か怒られるかなと思った。(爆笑)
司会 十年たってもまだそのイメージが続いているんですね。
鈴木 えらいこわかったのね。階段一段とぼしすると、階段走っちゃいかんとかいつて。
岡本 でも、みんな一目おいていたよな。
司会 こわかったけれど、信頼関係ができていたのですか。
渡辺 さんはいかがですか。
渡辺 六年三組の時の水村先生が良かった。
司会 どんなどころが?
渡辺 優しいだけじゃなくて、生徒をつつみ込むような……年をとっているけどあったかくて、テレビドラマの「金八先生」のようだった。
吉野 僕は田中勝先生。

忘れ得ぬいたずら
 腕白の五年生自覚の六年生……
司会 物をこわしてしまったことなどありませんでしたか。
小岩 こわしました。こわしました。
トイレ掃除の時、遊びながらやろうと思って、デッキブラシありますよ。あれで石けん液の入れ物のふたを玉にして、ホッケーをやったんです。
一同 やった、やった。
小岩 それで丁度振り上げた時セトの手を洗うところに思いっきりぶつかっちゃって、バーン(爆笑)
岡本 その瞬間白いものがバーンと飛び散って(笑)「あー」っていった。
鈴木 よくこわれたなあ、あれ。
司会 それでどうしたのですか。
小岩 お詫びと、なんでこわしたか理由を書くのに七時ぐらいいでかかって(笑)それでやっと帰

してもらえた。

司会 それは五年生の時でしょう。随分力があつたのですね。

鈴木 とにかくくできたばかりできれいだつたし、先生の目にも触れないので、便所掃除が好きで、一年間便所掃除ばかりしていた。(笑)

司会 吉野さんはそういう失敗などありますか。

吉野 トイレの中に何人入れるかって遊んでいたら、十何人入れたんですが、それが見つかって、並ばされて、僕たちもものすごくおこられました。

司会 それでもいたずらはやめないのでしょうか。

岩沢 そうですね。五年生は腕白坊主が多かったから。(笑)

ただ、からつとしていたね。その点六年生は最上級生という自覚がありましたね。今の子供に比べたら随分覇気もありましたよ。

司会 十年というのは一サイクルといいますが、そんなにも変わってきているのでしょうか。

岩沢 やっぱ違いますね。時代の変化なんでしょうけど。



らみると今の小学生は可愛そうですね。

司会 後輩に残すことを伺いたいです。

小岩 ご両親にですが、子供に押しつけるのではなく伸び伸びとやらせた方がよいのではないかと思えます。ファミコンなども悪くはないけれど、身体を使うことをして欲しいですね。

司会 岡本さんはいかがですか。

岡本 やりたいことをやって欲しいですね。

司会 鈴木さんは?

鈴木 今はマスコミ先導型の社会と言われていて、それに先生や親がふりまわされているような面があるけれど、いじめのこともマスコミが騒いでいるほど、そうではないと思いますね。(二回うなずく)



充実

最上級生としての日々

司会 思い出しても感動するということはあるのでしょうか。

森下 私達のクラスは鯉沼先生でしたが、皆でやる行事が多かったです。学級クラブというのがあって、クラスの中で自分の好きなクラブを作れたんです。丁度その頃「エースをねらえ」という漫画が流行っていて、テニスをやりたい、自分達でスカートを作ったりしました。あと旅行クラブというのもあって、皆で土呂遺跡に行ったりしました。マラソンで日本一周というもの

やりました。毎朝走った距離を班ごとに集計して地図の上に赤で引いていくんですね。最後に卒業式の日に皆で一キロづつ走って、それで丁度日本一周になりました。

司会 まあ、すばらしい。

森下 たくさんのことが記憶に残っていて印象深いです。

庄野 記憶に残ると言えば、アントレス(スポーツ少年団)の練習があるのに、プールに入っていたら見つかって、水泳パンツ一ちようでキャッチボールやらされて(爆笑)

司会 そういう罰っていいですね、ユーモラスで。

ところで庄野さんは児童会にかかわっていらしたのでしょうか。

庄野 会長に前期、後期とも立候補して全部落ちました。

司会 人を見る目がないですね。

庄野 全部次点なんです。副会長は別に立候補しているの、会長選挙で二位になっても何も無いわけですよ。僕は何とも思っていないのに、皆で「ダメだなあーお前」なんて笑うんですね。

母校

打ち込んだ卒業制作

司会 卒業してから学校へ行ってみたことはありますか。

い。僕も親に勉強、勉強と言われていたら大学へは行ってなかったかもしれない。

目標をつらぬく

その時しか出来ないことを積み重ねて

庄野 高学年の子に。目標をつくつたらいいと思う。一日三十分勉強するとか、本を一月に一冊読むとか。

僕なんか大学受験で失敗して、次の年妥協して今の大学へ入ったんです。ところが意にそわないものだから学校へ行くこと自体がつまらなくてね。医者になりたいとか、エンジニアになりたいとか、自分の目標をしっかり持ち続けた方がいいと思います。

司会 森下さん、どうぞ。

森下 そうですね。やっぱりその時しか出来ないことがあると思っただけです。小学生は小学生らしく、勉強も大事でしょうけれど、やはり、身体を動かすことが一番だと思っただけです。

怒られることも良い経験になるし後から役に立つと思います。一生懸命遊んで、我慢するところは我慢する。時間もきちんと守る。今からやっておけば社会に出たら身についていて楽ですね。

岡本 あります。夜中だったけど、校舎だけ見えてきました。

高校の時にも行ったことがある。友達に俺の卒業した小学校を見せるよって。卒業の時一つ一つのレングに自分の顔を彫ったんだけどそれも見せたりして。

小岩 ああ、卒業制作のね。今でもあるの?

岩沢 下の方は上に埋まってしまっているな。こんど掘り起こしておこう。

司会 一期生の方は何を残されたのですか。

森下 アスレチックです。校庭に穴を掘って木を埋めて、先生方も一緒にやって下さいました。

変わってきた遊び

僕はこんなふう思う

司会 今の子供は覇気がないと言われたりしますが、自分達の頃と変わってきていると思われるところはありますか。

庄野 小学生の家庭教師をしていて感じるのですが、ファミコンなどが遊びの中心のようですね。野球はしないのって聞くと、スイミングに行っているからいいと言っただけです。

中学受験もあるし、そういう面か



司会 お話を伺っていますと、一つ一つがすばらしい宝石のようですね。

岩沢 日本の若者は健在なりという感じがしましたね。

司会 そうですね。本当に。今の子供達も十年たつたらこんな立派になるのかと思うと、とても楽しみです。

岩沢 皆さん若いので、ずいぶん悩みもあると思うし、挫折もあると思うけれど、むしろそれは、人生の味わいみたいなもので、その人の顔になっていると思う。

投げ出したことがあっても、逃げてしまわないで欲しい。遠回りしてまたもとに戻った時に、今まで以上の自分になっているというようなことが沢山あります。

司会 その通りだと思います。

皆さんも母校を大切に思っただけ、お時間のある時は是非学校を訪ねて下さい。

今日はお忙がしいところ、本当にありがとうございます。



卒業生

私の十周年記念

吉田良太郎

荒涼とした大地に吹きすさぶ風。そんな風景の中に聳え立つ白亜の城。私が初めて北小を見た時の印象である。あれからもう十年も経ってしまったのかと、驚愕すると共に懐しさがこみ上げてきた。

思えば北小創立の年に転校してきた私には、何もかもが新鮮であり刺激的だったのを覚えている。痛いグラウンド、胸がときめく理科実験室、熱心に行ったスポーツ少年団等々、ここ数年思い出してもなかつた小学校時代が頭の中に甦ってきた。お世話になった先生方もたくさんいた。北小十周年について何か、と言われても私が思い出すのはM先生のゴツゴツのゲンコツとか、O先生の笑顔とかである。それが私の歴史であり思い出となっている。思い出しているうちに小学校時代の先生、友達との邂逅が今の私に少なからぬ影響を与えている事に気が付いた。これからも大切にしたい、思い出の効用。原稿を依頼され、初めて気付いた私の十周年記念である。
(五十五年第三回卒業生)

変わりゆく社会の中で

遠藤岳雄

あれから十年。本当に早いものです。先日、北小のグラウンドに立ちよった時、私達のいた頃まだ親指くらいの太さだった桜の木が、今は、しっかりと葉を上げらせ、幹も私達の腕の太さくらいになっている姿を見て、十年という時の流れをひしひしと感じました。校舎にもどこことなく貫録が感じられ、それでいて畑からの土煙にさらされてくる姿は、昔と何一つ変わりがなく、あの頃の思い出がよみがえってくるようでした。ますます複雑に進歩、発展しつづける社会情況の中に、これからさきどうとする私達にとつて、北小での思い出が少しでも心のやすらぎになればと、思うわけです。世の中や社会が変わっても、心の中の思い出だけは一生変わることはありません。そんな思い出を大切に私達はがんばっていききたいと思えます。また立ちよる際は昔と変わらぬグラウンドで、昔にかえつてのんびりくつろいでいきたいと思えます。その時はまた、よろしく。
(五十六年度第四回卒業生)

懐かしいランドセル姿

小林隆史

入学した頃、体からはみださんばかりに大きかったランドセル、それを今、あの頃の自分と同じ姿を近所の小学生に見る時、十年という月日があつたという間に過ぎた事を実感すると共に、懐かしく思えます。北小が開校したのは私が二年生の時でした。新しい校舎、新しい机、新しいイスを期待しながらワクワクして登校しました。入った年はまだ遊具や運動場も少なかったりして、授業中でもふと外を見るとブルトナーが動いていた事や、雨の日は正門からの通りがぬかつてしまい、ワタリをしいて昇降口までを往復した事を覚えています。何もかもが新しく、校舎はまだペンキのにおいがかすかにあり、後からできたプールや体育館も大変立派なものでした。高学年になった頃は設備も整つて、大変過ごしやすい環境になり、おかげで勉強や運動を思いきりできて、楽しい思い出をたくさんつくることができました。これからの北小の益々の発展を期待します。
(五十七年度第五回卒業生)

わが母校



最初の一年生

伊藤 充

高萩北小学校創立十周年記念おめでとうございます。思えば、僕達は北小が出来て最初の一年生であり、六年間を過ぎた最初の卒業生でもありました。入学式では、グラウンドもまだ整備されてなく、もちろん体育館も出来ていませんでしたので、屋上で式を済ませた事が思い出されます。その頃はまだ校庭には植木は一本も無く、広い校庭と校舎だけの誠に殺風景な学校でした。雨が降るとドロドロのぬかるみになって困りました。

しかし今は、グラウンドも整備され、立派な体育館もあり、校庭の周囲には数多く植木も植られています。校舎も校庭もまわりの環境も、他と比較して一歩もひけをとらぬと、誇りに思っております。清々しい空気を胸いっぱい吸い込むことに、運動に一日一日を無駄にすることなく、北小の伝統を築き上げてください。
(五十八年度第六回卒業生)

二人で半分このお話

山崎 猛

開校十周年おめでとうございます。北小を卒業して後、はや三年目を迎えました。私たち七期生は、中学三年生という大事な時期にさしかかりました。小学校に在学中、先生方にはいろいろお世話になりました。心から感謝の気持ちでいっぱいです。

その中でのおはなしは、当時の私達にはむずかしいこともありましたが、尾崎校長先生の「二人ではんぶん」のおはなしは、今の私達にかかせない話だと思えました。これからの生活の中で、うれしいこと、かなしいこと、たくさんある出来事が私達の前にさしかかってくると思います。それをみんなで力を合わせ、のりきっていかれたらと思います。いつまでも応援していただきます。
私たちは、このすばらしい高萩北小学校の卒業生であることをここに思っています。
(五十九年度第七回卒業生)

思い出

関川明子

昭和六十一年の後期は、私にとつてとくにいろいろな思い出が残っています。

まずは、会長に当選したことです。それから仲良し運動会では、選手宣誓もやりました。児童会の方では、副会長、書記、各委員会の委員長、代表委員と共に、良い学校づくりを目指し、がんばって来ました。話合いの最中、意見がまとまらない時などは、担当の小坂井先生や、その他の先生方にもずいぶん、助けてもらいました。

後期の活動目標は、前期に引き続き「あいさつ運動」でした。このあいさつ運動のおかげで、あいさつができるようになった人もふえよかったです。今思うと、会長に立候補してよかった、と思っています。
これからの六年生にも、明るく、楽しい学校づくりを目指し、がんばってもらいたいです。
(六十年第八回卒業生)

休み時間の思い出

宮下名未

私は「遊具が小学校にあつてよかったなあ」と思います。小学生の時は、あまり遊具で遊びませんでした。中学生になった今、すごくなつかしく思います。あまり遊ばなかつた遊具なのに、たくさん遊んだ思い出が思い出されます。それに「休み時間は外へ出る」ということはとてもよいことだったのではないかと思います。それは、低学年から高学年までみんなが外に出ていたのです。なんらかのかたちで接する事ができたからです。そして、大勢の人や、先生とも遊べる機会があつたので、授業中では見られない友達や先生の顔も見られました。そんなことで、人との交流の仕方が自然と学べていたのではないかと思います。今休み時間校庭を見て、「これが中学生なんだなあ」と思い、さみしくなるときがあります。そんな時小学生の時の事が思い出されます。

だから、これからは中学校の校庭を見た時は、小学生のころを忘れないように思い出したいです。
(六十一年度第九回卒業生)

「北小」は今!!

児童会でとりくんできたこと

児童会長 北原貴俊

わたしたちは児童会役員ほか、委員会の委員長、代表委員で活動方針を決め、全校のみなさんに活動してもらいました。その目標とは、

- 一、みんなと仲良く遊ぶ
- 二、物を大切にします。

わたしたちは、一人でも大ぜいの人に、活動方針を、守ってもらうために、ポスターを書いたり、呼びかけをしたりしました。一回目の目標は、あまり守ってくれる人が少なかったのですが、二回目の目標は、守ってくれる人がとても多かったです。その目標とは、北小の宝物でもある「あいさつ」です。あいさつ運動もしっかりできましたし、ポスターもはりました。朝礼などで、いろいろな先生がたが、「北小は、あいさつが、とてもよくできるようになりましたね」とほめて下さる事がたびたびありました。

七夕集会では、六月の終りごろから、じゅんぴや、げきの練習、そして、くす玉作りをしていきました。低学年の人は、とても喜んでくれるように思いました。来年もまた、すばらしい七夕集会にしたいと思います。運動会は、一年生から、六年生まで、たのしめたいと思います。



写生会



避難訓練



授業風影



すいかの苗植

二年

十周年をむかえる北小が、どの人からも「すばらしい学校ですね」と、言われるように、これからもがんばっていききたいと思います。

一年

だいすき、きたしよう

ふじもり ようこ

わたしは、たかはぎきたしようで、おんがくのじかんが、いちばんすきです。みんなといっしょにたのしくうたえるから。でもかきかたもすき。やすみじかんは、ぶらんこやすべりだいであそべます。

ともだちできたよ

こばやし あずさ

わたしは、はじめてのとき、一ねん二くみのおともだちがいっぱいいて、びっくりしました。だんだんおともだちがふえてきて、もうみんなおともだちになりました。だからきたしようがすきです。

がっこうっていいな

おのせ けいいち

がっこうは、とてもおもしろいです。いちにちもやすまないでいきたいです。こうていのなかでいちばんおもしろいのは、ぶらんことすべりだいです。おべんきようはずこうがだいすきです。

木ぐれ 大すけ

北小のこうていは、のびのびあそべていいですね。

西川 ひろ子

わたしは、北小の先生がやさしくて、とてもすきです。

小島 りよう

北小には、ともだちがいっぱいてたのしいです。

林 智史

たいいくかんが大きくて、ほくは北小が大すきです。

石井 優子

いろいろなことを教えてくれる先生がいるから大すき。

玉井 康子

学校の校庭が広くて、たくさんゆうぐがあるからいい。

小林 知未

高学年のおにいさんおねえさんたちが、やさしいです。

信田 宏美

男の子も女の子も、いっしょにあそべるからいいです。

駒井 明香

みんなでいっしょにやる事がたくさんあって楽しい。

斉藤 沙奈恵

北小のまわりは、みどりがいっぱいでいい気分です。

伊藤 麻美子

友だちがいっぱいできた。友だちも先生もやさしいよ。

高橋 慶太郎

のうえんがひろいから、きゅうりが大きくなりました。

たのしいあいさつ

山田 裕子

北小のいいところは、何といっても「あいさつ」だと思います。私は、あいさつの中でも「おはようございます」が一番好きです。そして、私たち一人一人のあいさつが北小のたから物だと思うと、会う人みんなに、大きな声で「おはようございます」と、いいたくなります。あいさつをすると、気持ちのスーッとします。

みんな元気

小室 恵理

北小には、緑がたくさんあり、校庭も広く、春になると、校庭いっぱいにはサクラがさきます。学校のみんなは、先生に会うと、あかるく元気に「おはようございます」と言います。お昼休みや二十分休みでも、元気にドッジボールやいろいろなあそびをして、北小のみんなは、とても元気だと思います。

ふじ山の見える教室

小幡 咲子

わたしは、高萩北小が、大好きです。わけは、大きな校庭があつて、みんながなかよくあそべるからです。それに、たくさんのおうぐがあつて、たのしいです。

四年

ぼくたちの北小

矢島 信一

やっぱりあいさつがいいと思います。朝、班長や副班長が、あいさつしてくれるし、ぼくもあいさつをしないと、だんだん気持ちが悪くなってきて、さわやかな朝をむかえられないから、とてもいいと思います。もつともつと、あいさつをふやしたいと思います。

北小のよいところ

橋村 香子
森 真奈美

まわりが、緑にかこまれていて、空気もおいしい。校庭が、ひろびろとしていて、ゆうぐがたくさんある。先生とせいとが、仲がよい。緑がたくさんあつてとてもいい。遊ぶ物もたくさんある。わたしは、そのなかですごしてきてよかったです。この北小が大好き。

北小のよいところ

芳賀 信哉

ぼくが北小にきて、よいと思ったことは、遊ぶものがいっぱいだし、先生もやさしいし、みんなもいつも元気がいいし、本当によいところだと思います。そして本当によいのは、学校じたいがとっても大好きです。校舎もきれいで中もきれいだからです。



卒業制作と子どもたち

こうていや、教しつのもどから、ふじ山も、とてもきれいに見えて、みんなを見おろしているようです。

一年生になったとき

藤田 なつみ

わたしは、一年生のとき、北小のとても広い校庭を見ておどろきました。帰りにプールを見ると、大きなプールだったので、びっくりしてしまいました。次の日、校庭に出てみると、たくさんのおもしろそうな遊具がいっぱいあつたので、とってもうれしかったです。

これから卒業する時まで、もつとよいところをさがそうと思います。

北小の良い点

瀬良 純志

北小には、あいさつというとても大切な宝物があります。その宝物を自分たちのために上手につかっているところが、北小の良い点だと思います。

けれどひとりの人があいさつをしなかったり、けんかやいじめをしたりすると、せっかくの宝物が台無しになってしまうので、みんなで声をかけて頑張っていきたいと思います。



体育館掃除



マラソン大会

五年

みんなが協力してくれた役員選挙

角屋 多栄

わたしが児童会の役員に立候補することに決まってから、みんな協力してくれました。一番うれしかった言葉が、「わたし達もやってあげるよ」との一言でした。

たとえ当選しなくても、みんなががんばろうという気持ちが大切だと思いました。

これからもそう思っがんばろうと思います。

入学してから

古川 淳也

一年生の時から比べると、遊具もふえ楽しく遊べるようになった運動場。ほくはとくにロープジャングルが楽しい。広い運動場、農園などは北小の素晴らしい環境だと思います。

四年生の時、先生が文集に書いてくださった「とにかくあきらめたらだめだ」という言葉をわすれずに勉強にもスポーツにも取り組んでいきたい。

北小のこと

川越 宗徳

北小はいい学校です。校庭は広いし遊具もたくさんあるし、つば

めも住んでいます。それに北小の子は、みんなあいさつがよくできます。あいさつは北小の宝物です。みんなは十年間これを守ってきました。えらいなあと思います。もちろんほくも入っています。これからもみんなですつと守っていききたいです。

田島よしい先生のこと

平田 淑子

わたしは、田島よしい先生と運動や勉強をいっしょけんめいやりました。でも先生は、わたしたちが四年生になると、どこかの学校へ、うつってしまったのでさみしくなりました。

わたしは、くいの残らないように自分の声を、ろく音したカセットテープのプレゼントをわたしました。

先生はとてもやさしい人でした。

よみがえる感動

房常 章子

私は、入学して、教室に入った時、とつてもきんちようしていました。心の中で「北小学校ってどう言う学校なのかな」と思っふいに、外を見てびっくりした思いがあります。外を見てびっくりしたと言うのは、遊具がたくさんあったからです。「わあっ、すごいすごい。こんなにあって」と心の中で興奮していました。このことを、今、思い出すと、その時の感動がよみがえってきます。

北小は、すばらしい私の母校。これからもがんばってね、北小。

六年

先ばいに続いて

南沢 周子

私たち六年生は、十周年の卒業生という、名もある学年になりました。この北小は、私たちの先ばいがきずきあげてりつぱにつくられてきました。十周年という節目をさかいに、私たちは、先ばいを見習って、よりよい北小をつくっていかなくてはなりません。

あいさつを宝物とした北小を、よりよくしていきたいと思っます。

十年目の卒業生

石田 仁美

一年生の時、何もかもが、めずらしく、新しく見えたこの北小も六年間たった今では、別に感じることもなかったけれども、十周年ときいてみると、なんとなく、うれしく思っます。

また、十年目の卒業生と言われると、ほこりに思え、六年生として、のこりすくない期間内に、のこされている仕事をりつぱに果していききたいです。

よいところをもっと増して

岩佐 大史

ほくは、この北小に入学した時、幼稚園にくらべて遊具がたくさんあり、校庭も広いにおどろきました。また小さかったので夢中に

遊んだのを覚えています。ほくは、今年で卒業するけれど自慢の挨拶を忘れないよう心がけてもらいたい。また挨拶以外にも北小の児童だけの最高の宝物をたくさん増してもらいたい。

楽しかったプール

吉本満寿世

私は、学校の行事の中で、一番好きだったことはプールです。ようち園のころからプールが好きだったので小学一年になって初めて学校のプールに入る時、うきうきしました。この六年間のプールに入った思い出は、楽しいことばかりでした。

十周年からの努力

吉川 卓

この十年間で、変わった事は、いっぱいあると思っます。特に変わった事は、あいさつ運動によって、あいさつという宝物が、できた事だと思っます。この宝物を壊さないように残してほしいです。

そして、十周年というふし目から、また新しい宝物を努力してつくるといっことが大切だと思っます。



地域の方々

小中学校の 良いつながり

早川 文雄

日高町にお世話にな
って四年になります。
小・中学校の連携は大
変いいですね。職員
の交流会も花見を含め
二回程あります。これ
からも、ぜひ続けたい
ですね。

北小では、少年野球
やミニバスが盛んで、そこで活
躍した子どもたちが北中の部活
動でも頑張っている成績をあげ

ています。元気な小学生の皆さん
が続々と中学へ来てくれることを
期待しています。
(高萩北中校長)

通学の子とも達と

ともに
猪狩 勝美

家の前が、集合場所になってい
たので、集って出かけるまでの間
寒そうにしている子ども達を見て
なわとびをやる事を思いついた。
雨や雪の日以外は毎日、四年の間
休業日でゆっくりしたい日でも、
子供達の声があると、つい可愛く

て起きずにはいられなかった。毎
朝していたころは、それが起きる
張り合いにもなった。子供達も中
学生となり、その楽しみも今はな
く物たりないような気もしている。
(日高団地二地区)

良い子の育つ環境

吉野ツネ子

恵まれた環境に建つ校舎はいつ
も清潔で美しい花に囲まれており
子どもたちも素直で礼儀正しい。
ユニークな体育祭など、子どもた
ちが元気で活躍している姿がたの
しい限り。厳粛にして、子ども
中心の卒業式など、今も印象に残
っている。そして北小から良い子
が巣立つ。
今後のご発展を祈ります。
(高萩婦人会長)

地域とのかかわり

松田 二郎

十周年記念、誠におめでとうご
ざいます。私は開校時には会員で
はありませんでしたが、何かとご
縁があり、初代歴代のPTA会長
さんとは地域のことにについては、

良く議論したものでした。バザー
の時も微力ながらも手伝いが出来
ました。今後も地域の為にお手伝
いが出来れば幸いです。
(新宿区)

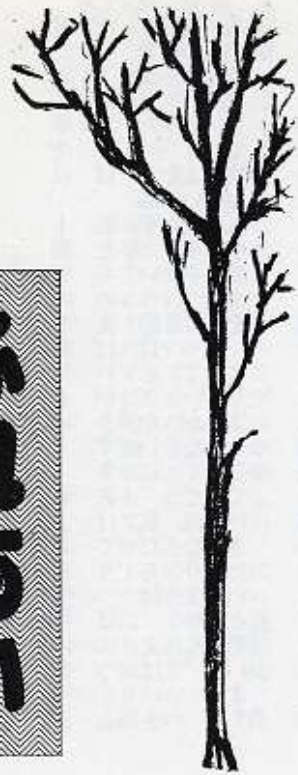


将来へ飛躍を

島村弥寿夫

開校十周年おめでとうございます。
多勢の卒業生を送り出した現
在皆様のご協力により諸施設も整
備され内容も充実した学校になっ
たのではないかと思います。

十周年という事で将来への一つ
の飛躍への節目となり今後共学校
及びPTA活動におかれましては
立派な伝統のもと益々のご発展と
ご活躍を御祈念申し上げます。
(島村接骨院院長)



ふれあい

開校十周年にあたり、いろいろな

形で子ども達とふれあい、

育てていただいた方々の

中からお話しを

伺いました。



バランスのとれた教育を

根本 栄一

この十年間に一四八
一名の子ども達が巣立
ち、現場を担当する先
生方には責任の重い事
業と思います。子ども
達をより効果的に教育
するには、父兄、先生、
地域の三位一体の協力
が必要です。「鉄は熱
いうちに打て」と申し
ます通り、六年間愛情
を持って、智、徳、体
のバランスのとれた三
育を進めて下さい。

私達は出来る限りの応援と環境
作りに協力いたします。

この十年間の実績をふまえ新た
に二十周年に向けて関係各位の一
層の努力を期待いたします。
(北中会会長)

交通のルール

岡野登志江

北小の生徒の横断の姿勢はすば
らしいですね。ポロポロの横断旗
で後輩を守る姿が大変良いです。
しっかり手も上げられ、また朝の
挨拶もこちらの口が疲れるくらい
元気にしてくれます。先生方も大
変熱心に指導して下さい。

北小農園での

子供達

横田 八郎

子供達は自分の指を確めながら
草をとり土を落とす。土とたわむれ
る。土を互いにかけて合う。倒れそ
うな苗を真っ直ぐにする子供達。やが
て実が付き大きくなった。子供達
の眼の輝き、作物の成長をみつも
る。そして自覚した瞳、土の有難
さを身に感じながら、北小の子供
達は成長していく。
(北小農園指導員)

給食の思い出

川野とき子

新しい学校でしたから設備も良
いので働きやすかったですね。
はじめのころエレベーターが故
障したことが何回ありました。
その時は、先生方や用務員さんが

お手伝い下さいましてね、階段を
昇って運んだりしました。

もう十年たったんですね。当時
のお子さん達も大きくなりました。
外で会うと挨拶して下さいるので
とてもうれいんですね。
(開校当時の給食係)



地域と共に

発展を

高橋 喜重

十周年おめでとうございます。
PTAを中心として、地域と学校
が一体となって北小学校作りに努
力して施設の充実を見たわけで
が、十年は節目です。

これからも、開校時の苦勞を忘
れることなく、北地区の立派な小
学校となるよう努力され、ますま
す発展されることをお祈りします。
(北公民館々長)

地域の方々

十周年おめでとう 落合好雄

高萩北小学校十周年おめでとうございます。私は、開校の昭和五十三年度の一年だけお世話になりました。貴重な体験でした。

以後、着実に多くの方々の努力等により発展していることを喜んでおります。

いせいか健康で肥満児が少なかったです。いい環境ですし、土に大いに親しんでほしいと思います。

当時の不便な生活 佐々木良祐

車は正門の外のあき地に駐車。そこから長ぐつにはきかえて、職員室入口まで歩いた。新一年生が玄関前あたりで片足土の中へうずまって出なくて、なっているのを見たこともあった。半年間ぐらいは本当に不自由なことが多く毎日を不安感ですごした。新設校はつくづく大変だなと言うことがわかった。

私を育ててくれた北小 井上茂樹

開校十周年、おめでとうございませう。私は、北小開校の年から四年間勤めさせていただきました。まだ新任の私を、なんとか一人前の教師に育ててくださったのは、先輩の先生方、そして父兄の方々でした。子ども達からもいろいろ学びました。北小は、私を育ててくれた学校です。

北小の思い出 西島 きく

担任した一年生の子供達と共に教員生活も卒業という事で北小の思い出はひとしおです。あの屋上の入学式。開校式のすばらしかったこと。四月以来校舎内外の急ピッチの整備、体育館、プール、校章、校旗、校歌までが完成して、一年生の廊下に心からの喜びを表したアーチ。「おめでとう」と大きな字を書いたのを思い出します。



私を育ててくれた北小 長谷川京子

新任で新設校への赴任でした。話し合ったり調べたりみんなので、わかり合う楽しさを学びました。スイカ、じゃがいも、とうもろこし作りで生産する喜びを知り合いました。多くの子供たち、お父さん、お

母さん方、先生方との出会いは、新米教師の私を育ててくれました。そして校庭のフェンス沿いに咲く秋桜がとてもきれいでしたね。

北小十周年によせて 鈴木 礼子

ズブッと靴をぬかるみにとられはだして校舎にたどりついたのが着任の朝でした。今では素晴らしい環境に恵まれています。当時は土の山を駆けめぐった体育、水筒持参、ホコリとの闘い等々。でも子ども達はへこたれず喜びで瞳は輝くばかり。熱き思いの五年間でした。

いつになっても…… 岡野恵美子

汗まみれ埃まみれになって飛び回った広い校庭、土に親しんだ農園、夕方窓から見るパノラマの美しさの中で、新米教師が児童と共に学び成長することができたことを大変うれしく思っています。今後の北小の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

転出された先生

開校時の学校 坂本 幸枝

開校時から五年いまして、当時は校庭が整備されてなく、校舎に行くまでに泥だらけになるので長ぐつを履いて来ていました。スイカを作った事も懐かしく思います。黒く日焼けした子が多かったです。団地から通う子が多く、歩く距離が長

十年勤続の先生

短かった十年 牧本 征雄

早いもので、転動してから十年になりました。何をやってきたろうと考えると何かたいした事もせず過ぎたような気がします。

取り組んできた事をいえば北小の体育ぐらいかと思います。これも地域、保護者の皆様の支えがあったればこそと感謝しております。

変化と伝統と 岩沢 徹夫

「十年ひとむかし」と言いますが、今はもつと変化が速いようです。子どもたちも学校も、ずい分変わります。二、三回はサイクルがあったでしょうか。何が伝統になったのだろうか、何を未来に伝えていくのだろうか、ここでじっくり考えてみたいものです。

成長をよろこぶ 小林美枝子

高萩北小が開校して今年で十年時が流れて、初めてその重みを感じています。開校の年の四月一日(着任の日)は、雨がしきりに降っていて、ぬかるみの校舎の回りを苦労して歩いたものでした。歴史と共に、本校が大きく成長し、大変嬉しく思います。

雨の入学式 小沢 信子

ぬかるみに新しい靴を入れてしまった親子、屋上での式、四年生以上の出席、マイクなしの式辞という、環境整備のできていない開校日でした。しかし、一年生の目は輝きに満ちあふれていました。それが、北小の礎をつくる光だったのでしょう。

十周年の新たな決意 佐野 康枝

人生の最も華麗な時代を北小と共に歩ませていただきました。無

みんな良い子に 石関きみ子

開校以来十年の月日がたちました。十年、長いようで、あっという間のような気がします。この間の転入児童の数が、四六〇名、転出児童が、三七九名でした。人数だけでも毎年毎年一学級以上の入れ代りがあった事になります。みんな良い子に育つといいですね。

十年間の変貌 池端 信子

児童数の増加で増築した教室が空教室となり、視聴覚室、美術館ができました。一本もなかった桜の木も、しっかり根をはり大きくなりました。本校の宝物の一つにあげられる、気持ち良いあいさつ、いつまでも続いて欲しいです。



開校当時の先生方

開校当時の思い出 鈴木 浩子

開校当初校庭が、整地されてなく、雨が降ると泥んこになり、夏は草が伸び放題。それと飲み水の確保に、ポリ容器で何度も水を運んだため、手の筋を痛め、手術をしたこともありました。ゴミも多く出て、特にダンボールを燃やすのが、大変でした。現在の恵まれた環境が、当り前と思わないで、感謝する心と、思いやりのある子に、育ててほしい。

教 職 員

氏 名	在任期間	氏 名	在任期間
森 田 良 久	昭和53. 4. 1~55. 3. 31	鈴 木 浩 子	昭和53. 4. 1~
犬 竹 郷 美	昭和53. 4. 1~56. 3. 31	室 井 キヨ子	昭和53. 4. 1~59. 9. 30
西 島 き く	昭和53. 4. 1~59. 3. 31	河 野 敏 子	昭和53. 4. 1~57. 7. 19
金 橋 富士男	昭和53. 4. 1~61. 3. 31	小 田 直 江	昭和53. 4. 1~60. 12. 20
佐々木 良 祐	昭和53. 4. 1~56. 3. 31	長 岡 良 江	昭和53. 4. 1~57. 7. 19
落 合 好 雄	昭和53. 4. 1~54. 3. 31	細 田 俊 雄	昭和54. 4. 1~60. 4. 1
水 村 弘	昭和53. 4. 1~59. 4. 1	根 津 理 紀	昭和54. 4. 1~60. 4. 1
牧 本 征 雄	昭和53. 4. 1~	椎 橋 智代美	昭和54. 4. 1~
岩 澤 徹 夫	昭和53. 4. 1~	森 田 幸 子	昭和54. 4. 1~58. 3. 31
小 林 美枝子	昭和53. 4. 1~	塚 崎 陽 子	昭和54. 4. 1~
小 松 ひで子	昭和53. 4. 1~59. 8. 21	比留間 芳 子	昭和54. 5. 1~54. 5. 16 昭和59. 11. 2~60. 3. 31
大 場 久 子	昭和53. 4. 1~55. 3. 31	嶋 田 恵美子	昭和54. 5. 22~55. 3. 31
鯉 沼 文 夫	昭和53. 4. 1~61. 3. 31	吉 田 明 子	昭和54. 6. 13~54. 6. 23
森 田 和 男	昭和53. 4. 1~56. 3. 31	松 本 佐 夫	昭和55. 4. 1~57. 3. 31
田 島 裕 子	昭和53. 4. 1~56. 12. 2	新 井 克 徳	昭和55. 4. 7~55. 5. 30 昭和56. 1. 5~62. 3. 31
鈴 木 礼 子	昭和53. 4. 1~58. 3. 31	出 野 啓 子	昭和55. 4. 8~58. 9. 30
渡 辺 恵 子	昭和53. 4. 1~56. 3. 31	齊 藤 乃里子	昭和55. 9. 11~57. 3. 31
田 中 勝	昭和53年 4. 1~57. 3. 31	浅 見 政 人	昭和56. 1. 5~56. 3. 31
小 澤 信 子	昭和53. 4. 1~	大 野 静 夫	昭和56. 4. 1~59. 3. 31
井 上 茂 樹	昭和53. 4. 1~57. 3. 31	佐 藤 洋 子	昭和56. 4. 1~
松 井 真知子	昭和53. 4. 1~56. 3. 31	土 屋 礼 子	昭和56. 4. 1~
長谷川 京 子	昭和53. 4. 1~59. 3. 31	小 川 恵美子	昭和56. 4. 1~
多 田 正 弘	昭和53. 4. 1~58. 3. 31	寺 本 博	昭和56. 4. 1~
坪 川 昌 代	昭和53. 4. 1~57. 3. 31	福 島 智津美	昭和56. 4. 1~59. 3. 31
池 端 信 子	昭和53. 4. 1~	岡 野 恵美子	昭和56. 4. 1~61. 3. 31
松 下 友 紀	昭和53. 4. 1~58. 3. 31	大 石 浩 子	昭和56. 4. 1~57. 2. 28 昭和57. 5. 12~58. 3. 31
佐 野 康 枝	昭和53. 4. 1~	小 河 原 まゆみ	昭和56. 4. 1~56. 8. 31
坂 本 幸 枝	昭和53. 4. 1~58. 3. 31	井 上 れい子	昭和56. 9. 1~58. 3. 31
石 関 きみ子	昭和53. 4. 1~	芝 原 一 美	昭和57. 1. 26~58. 3. 25 昭和59. 7. 23~59. 12. 31

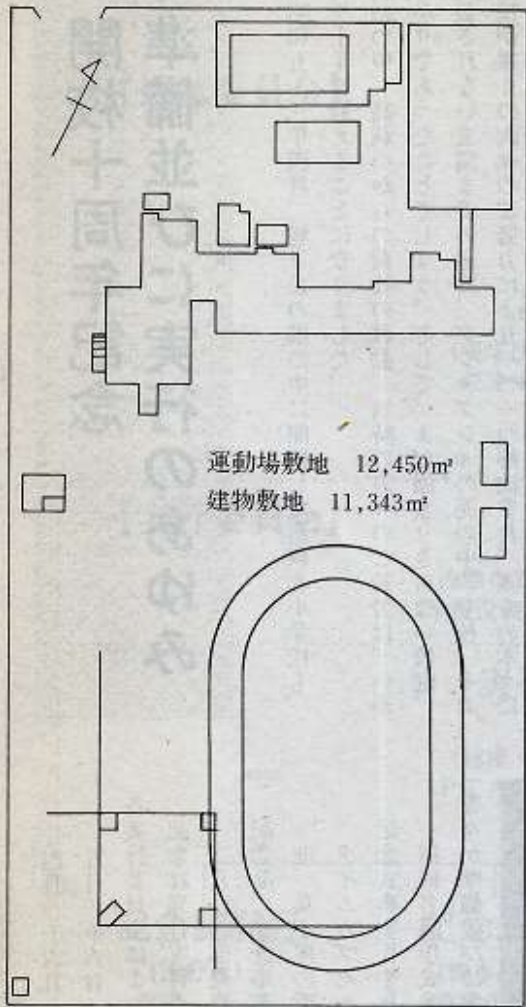
名 簿

(敬称略)

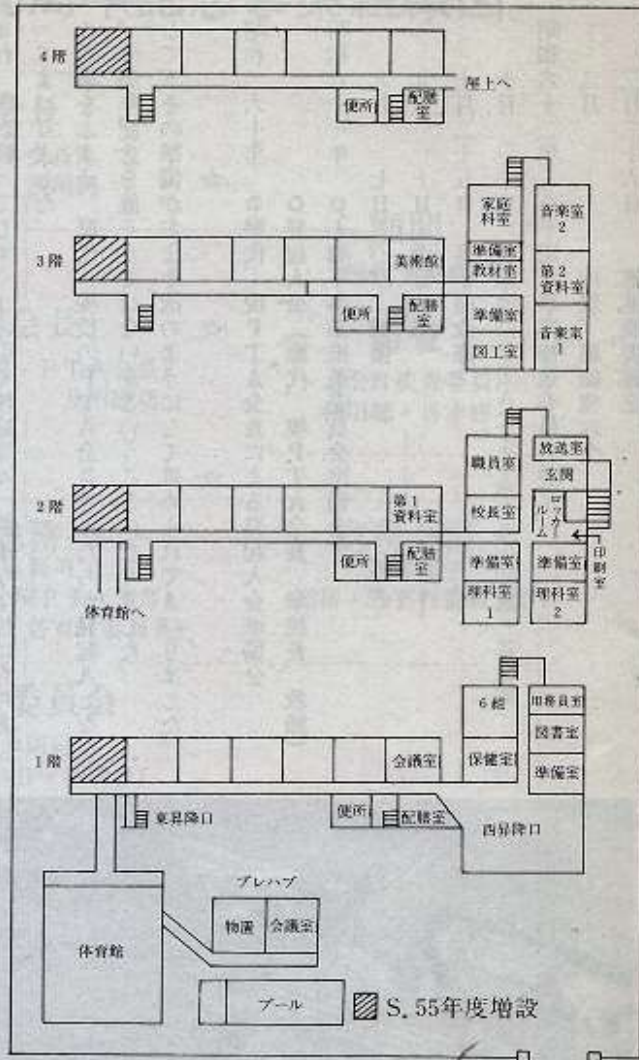
昭和62年10月1日現在

氏 名	在任期間	氏 名	在任期間
宮 澤 清 美	昭和57. 3. 6~57. 3. 31	林 多 恵子	昭和59. 8. 28~61. 3. 31 昭和61. 4. 8~62. 3. 30
尾 崎 昌 治	昭和57. 4. 1~61. 3. 31	齋 藤 清 子	昭和59. 10. 1~
田 島 博 之	昭和57. 4. 1~	河 野 聖 子	昭和60. 1. 1~60. 3. 31 昭和60. 4. 8~61. 3. 31 昭和62. 2. 28~
田 島 良 委	昭和57. 4. 1~61. 3. 31	佐 藤 ふき子	昭和60. 1. 1~61. 3. 31
小 峰 みつ子	昭和57. 7. 7~61. 3. 31	市 岡 澄 代	昭和60. 4. 1~
浜 谷 重 代	昭和57. 9. 1~60. 3. 22	吉 田 正 芳	昭和60. 4. 1~
阿 部 和 子	昭和57. 9. 1~61. 12. 19	岩 附 浩 未	昭和60. 4. 1~
茂 木 貴美子	昭和57. 11. 5~57. 11. 25	大 森 ふじ枝	昭和60. 4. 1~
吉 川 清 子	昭和57. 12. 10~58. 3. 25	佐 川 ふみよ	昭和60. 4. 10~61. 3. 28
山 下 利 明	昭和58. 4. 1~	橋 田 美 紀	昭和60. 10. 25~61. 3. 31
小坂井 啓 二	昭和58. 4. 1~	菅 原 美 雪	昭和60. 12. 17~61. 4. 21
西久保 伴 子	昭和58. 4. 1~	森 田 晴 子	昭和61. 1. 8~
坂 本 和 美	昭和58. 4. 1~59. 12. 31	荒 井 栄 一	昭和61. 4. 1~
関 根 悟	昭和58. 4. 1~58. 7. 31	清 水 鏡 二	昭和61. 4. 1~
島 村 和 男	昭和58. 4. 25~58. 4. 28	石 田 尚 美	昭和61. 4. 1~
荒 江 シナ子	昭和58. 10. 8~60. 3. 28	山 田 百合子	昭和61. 4. 1~62. 3. 30 昭和62. 4. 1~
正 木 典 子	昭和59. 1. 10~59. 1. 21	中 川 祐 子	昭和61. 4. 8~62. 3. 31
中 川 八枝子	昭和59. 2. 18~59. 3. 6	田 嶋 嘉 美	昭和61. 4. 8~62. 3. 31
中 原 稔 夫	昭和59. 4. 1~	石 関 正 子	昭和61. 4. 9~
大 澤 佐 一	昭和59. 4. 1~	大 野 雅 世	昭和61. 7. 9~62. 8. 31
新 井 洋 子	昭和59. 4. 1~	濱 口 恵 子	昭和62. 1. 10~
田 島 久美子	昭和59. 4. 1~	吉 田 敏 子	昭和62. 1. 30~62. 2. 27
庄 司 和 恵	昭和59. 4. 1~60. 3. 31	後 藤 陽 子	昭和62. 4. 1~
須 沢 早 苗	昭和59. 4. 8~60. 3. 31	駒 井 恵 子	昭和62. 4. 3~
矢 島 和 実	昭和59. 4. 16~60. 3. 31	中 濱 しのぶ	昭和62. 4. 3~
山 田 和 子	昭和59. 6. 6~59. 7. 20	大 城 ユカリ	昭和62. 6. 27~
我 妻 智 子	昭和59. 6. 6~59. 6. 21		
岡 本 洋 子	昭和59. 6. 28~60. 3. 31		
加 藤 美佐子	昭和59. 6. 29~61. 1. 5 昭和61. 4. 1~61. 12. 27		

校舎配置図



教室配置図



学校規模の移り変り

(各年度とも5月1日現在)

年度	児童数等			年度	卒業者数		
	児童数	学級数	教職員数		男	女	計
昭和53	886	23	34	昭和53	56	66	122
54	986	27	38	54	79	77	156
55	995	26	37	55	69	60	129
56	1,076	28	40	56	97	98	195
57	1,056	27	38	57	83	87	156
58	1,038	26	37	58	93	75	168
59	1,013	27	39	59	98	98	196
60	942	25	36	60	89	84	173
61	896	26	37	61	85	100	185
62	845	24	35				

PTA本部役員一覽

- 歴代会長 平井満州男
高沢武男
橋本昌治
早瀬とみ子
村上友子
加藤正司
小野直子
清野新一
吉本新一
伊東新一
荻原新一
岩佐新一
乃川新一
- 歴代副会長 濱口充
高沢武男
橋本昌治
早瀬とみ子
村上友子
加藤正司
小野直子
清野新一
吉本新一
伊東新一
荻原新一
岩佐新一
乃川新一
- 歴代書記 島野房子
河野敏子
小林直子
佐田恵美子
山崎奉子
吉野陽子
小松和枝
若松久枝
- 歴代会計 渡部幸枝
田中恵美子
石川洋子
村川桂子
小村留子
荒井留子
齊藤栄子
- 歴代監査委員 鎌田伸一
山下喜子
小林直子
古野昭義
島村弥寿夫
横田八郎
田嶋清二
有賀紀幸
吉野明弘
杉山博行
中山貞男
- 教職員 永田登美子
岩佐好子
鎌田伸一
山下喜子
小林直子
古野昭義
島村弥寿夫
横田八郎
田嶋清二
有賀紀幸
吉野明弘
杉山博行
中山貞男



- 水村征弘
牧本俊雄
細田雄
小松ひで子
岩沢徹夫
小藤美枝
佐藤洋子
小澤信子



高萩北小学校開校10周年記念事業組織図



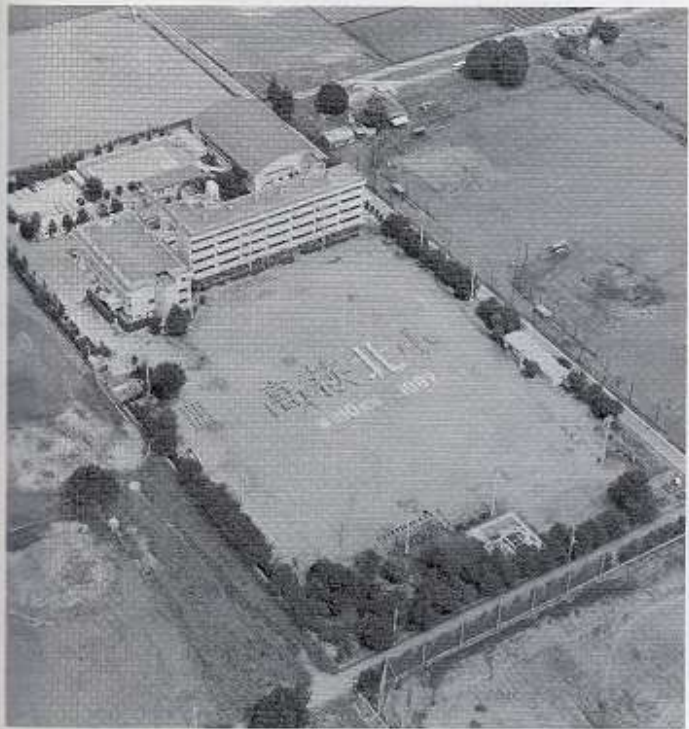
開校十周年記念 準備並びに実行のあゆみ

昭和五十三年四月、旭ヶ丘の畑の中に開校した高萩北小学校も、はや十年を迎えることになりました。

雨の中、高萩小からの荷物の移動、当時の方々のご苦労は、いかにばかりであったことでしょう。そして、まだ固まりきらない校庭、補装されない玄関までの通路、グシャグシャの泥の中の登校、その学校が多くの人々のご努力により一つ一つ解決され、多くの木々に囲まれ、雨が降ってもすぐ水の引く校庭等々、美事な学校に育ちあがってまいりました。

この事をふまえ、歴代、現役のPTA会長さんたちが発起人となり、十周年記念を催そうではないかということになりました。そして、その準備がおよそ次のようにして推められてまいりました。

- 昭和 六十年 ○歴代、現PTA会長による発起人会準備会
- 発起人会 (歴代、現PTA会長、学校長、教頭)
- 昭和六十一年 ○十周年事業推進委員会準備会
- 九月 七日 バザー開催
- 九月 十日 予算会議
- 十月二十五日 鳥小屋改修
- 十月 三十日 観察池にPTAにより水の浄化装置一基設置
- 昭和六十二年 ○十周年事業推進委員会発足
- 二月 内規、組織検討会
- 三月二十六日 推進概要確定



- 四月 十六日 実行委員会
- 五月 十六日 全体会
- 各実行委員会によって個々に活動が開始され、記念誌発行実行委員会
- 二八〇〇部発行・高萩北地区全戸配布
- 記念品、記念事業実行委員会
- 池、鳥小屋の改修、航空写真撮影(パネル作成、下敷き配布)
- タイムカプセル埋蔵
- 記念式典実行委員会
- 招待名簿作成並びに発送、会場設営、式典挙行
- 等々が準備並びに実行されました。

〈編集後記〉

十周年記念事業の一環として、記念誌を発行することになり、二月より活動を開始いたしました。PTAの役員が残り少いため、OBの方々、六十一年度の役員、学校職員が中心になり検討が行なわれ、五月のPTA総会で新役員を加え、五月から本格的活動に入りました。

何回もの編集会議を重ね、鋭意努力してまいりましたが、高萩北小学校十年の歴史の総てを記すことは紙面にも限りがあり、私たちの力不足も加わって、残念ながらも多くの割愛させて頂いたり、資料等収集することができなかつたり致しました。ご不満の点が数多くあることと思いますが、ご寛容の上ご覧ください。この記念誌が楽しい一ページになり、皆様方の心に残る一冊となつてほしいと、編集委員一同心より祈っております。

発行にあたりまして原稿をお寄せくださった方々、ご協力くださった方々、また、編集等でご協力をいただいた皆様方に、心よりお礼申しあげます。

(中原)

編集・発行／日高町立高萩北小学校

十周年記念誌実行委員会

表紙／題字／高萩北小学校校長

荒井栄一

イラスト／吉本新司

印刷所／(有)チュウオー・プリンター

開校十周年記念誌

昭和六十二年十月三十一日発行